

SmartLife

-スマートライフ-

加古川市立加古川中学校
エネルギー教育モデル校通信

No. 3

2014/12/16

エネルギー教育モデル校HPに！

モデル校がスタートして、3ヶ月が過ぎました。

何か、学校の様子に変化はあったでしょうか。

まず、エネルギーの部屋ができたり、このモデル校通信が発行されたりしました。授業でも、エネルギーに関する学習が行われていることについて、前回の通信で紹介しました。少しずつ、エネルギーについて目にしたり、学んだりする機会が増えてきているようです。そうした中、先日、2年生の技術の授業が、モデル校関係者に公開されました。参観者は少なかったのですが、東は東京、西は長崎から参観に来られました。その時の様子が、モデル校のホームページに少し掲載されています。

HPアドレス <http://www.energy-modelschool.jp/>



また、加古川中学校のホームページも、冬休み中にリニューアルされます。モデル校に関するページも開設予定ですので、こちらも是非見てください。

日本のエネルギー自給率 6%

10月のアンケートでは、右のような結果となりました。多くの生徒が、日本のエネルギー自給率は、20%以上だと思っているようです。しかし、正解は4%です。

日本のエネルギーは、その96%を、外国からの輸入に頼っているのです。驚きですね。

日本のエネルギー自給率を1つ選びなさい

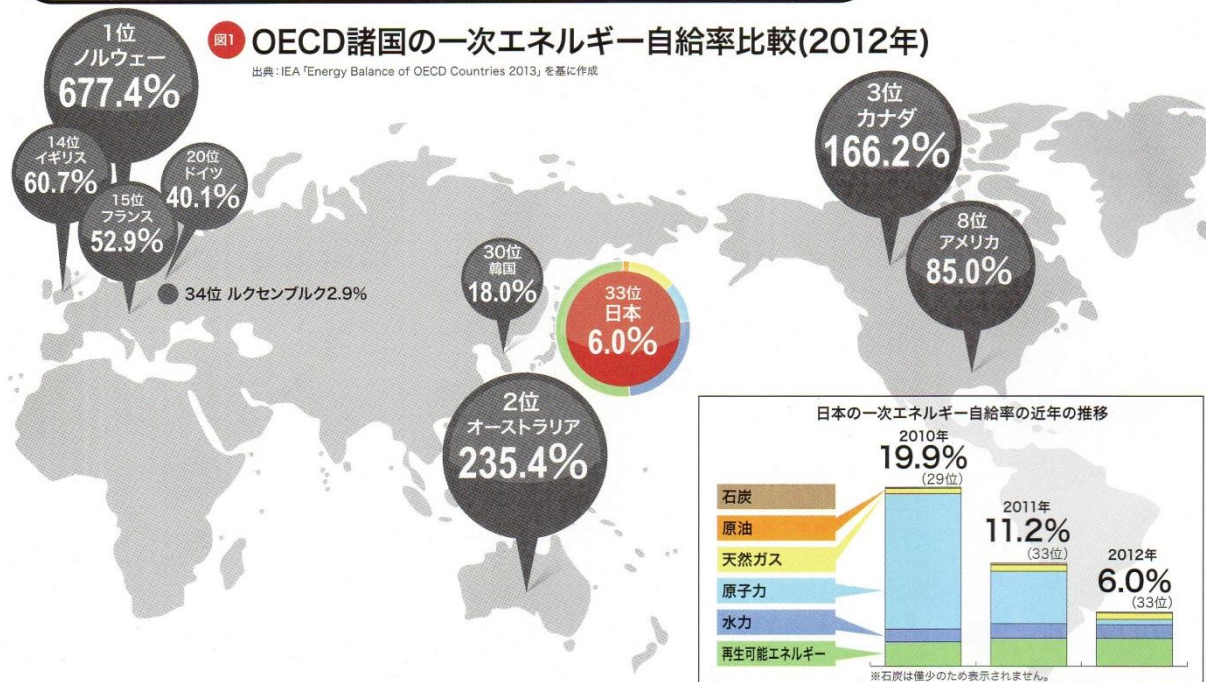


では、なぜ、6%と題をつけたのでしょうか。みなさんが使っ

ている地理の教科書では4%だったのですが、このたび、経済産業省資源エネルギー庁が発行した「日本のエネルギー2014」では、下のように6%（2012年統計）となっています。これは、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーが少し増えたことと、国際的な自給率では原子力エネルギーを準国産として扱うため、大飯発電所（福井県）が稼働していた分を含め、2%増となっているのです。今、原子力発電所が止まっているので、実際は、5.4%程度ということになります。少し増えたとは言え、日本のエネルギー自給率が、とても低いことがわかります。

これからも学習を続け、これでいいのかどうかを考えていきましょう。

エネルギーの自給率は、先進国の中で最も低い水準です。



一次エネルギー：エネルギーのうち、加工する前の、自然界に存在するもの。内訳は石炭、原油、天然ガス、太陽光・地熱などの再生可能エネルギー、原子力、水力です。IEA（国際エネルギー機関）は原子力を一次エネルギー自給率に含めています。

OECD（経済協力開発機構）：OECDは、先進国間の自由な意見交換・情報交換を通じて、1)経済成長、2)貿易自由化、3)途上国支援（これを「OECDの三大目的」といいます）に貢献することを目的としています。OECD加盟国は2014年10月末現在34か国です。 http://www.meti.go.jp/policy/trade_policy/oecd/html/